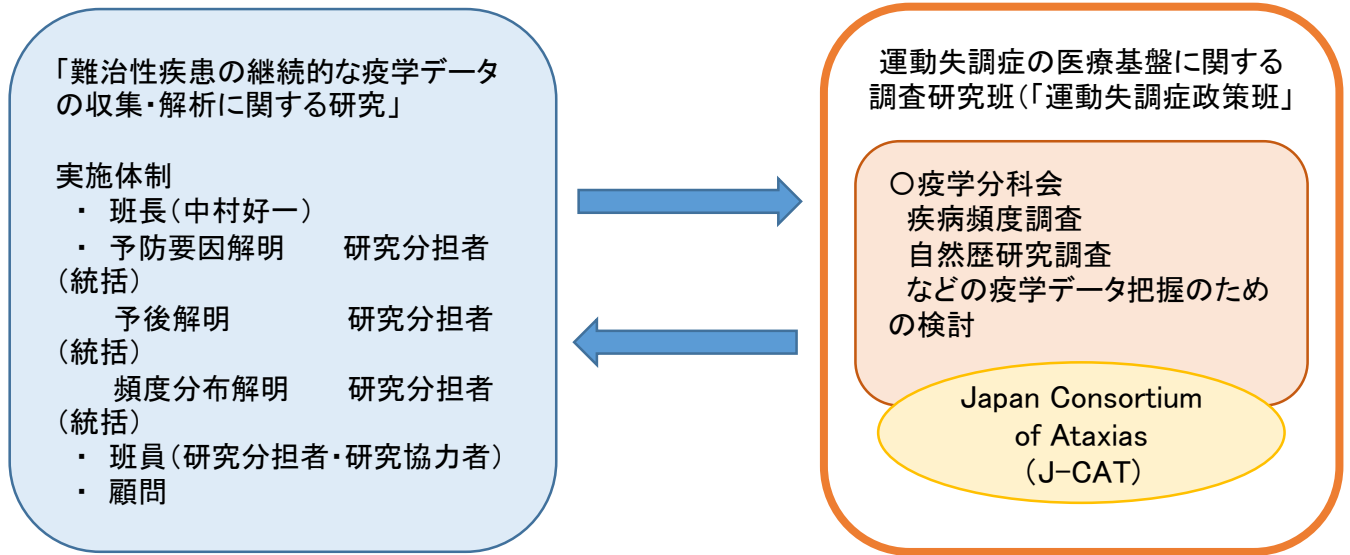


# 難病疫学研究班と臨床研究班との協力体制の構築



研究分担者： 大西浩文(札幌医科大学医学部公衆衛生学講座)

【目的】 難病疫学研究班と臨床調査研究班との協力体制の構築

【成果】

難病疫学研究班から疫学リエゾンとして本研究班へ参画し、また本研究班に疫学分科会を設置することで、疫学・臨床の両方の視点を加えた疾病頻度の把握や自然歴調査の推進など、本研究班での疫学データ把握のための体制の構築ができている。